

令和6年度家庭科「ファッション造形基礎」シラバス

| | | | |
|-----|----------------------|----------|--------------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 3年 A組～E組 |
| 教科書 | ファッション造形基礎 (実況出版) | 副教材等 | なし |

1 学習の到達目標

| |
|--|
| <p>被服構成、被服材料の種類や特徴など被服製作に関する知識と技術を習得し、ファッション造形の基礎的な能力と態度を養う。</p> |
|--|

2 学習の計画

| 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|----|----------------------------|---|--|----------------------|
| 4 | 衣服の構成 | 人体と衣服 立体構成衣服と 平面構成 | <ul style="list-style-type: none"> 人体の特徴を知り自身の身体の計測を行う。 立体構成及び平面構成について理解する。 衣服素材の性能について理解し、製作する衣服に適した素材を選択する。 | ワークシート |
| 5 | 衣服の材料 衣服の製作 (パンツの製作) | 衣服素材の性能と 選択 型紙の配置 生地のカット | <ul style="list-style-type: none"> 布目の方向や柄の向きに留意し、かつ生地が無駄にならないパターンの置き方を考えて配置し、カットする。 | 実習への取り組み状況 途中提出作品 |
| 6 | | 脇の縫製 ポケットつけ 股下縫い 股上縫い | <ul style="list-style-type: none"> 前パンツ、後ろパンツの縫製及び縫い代の始末の仕方をおぼえ、パーツをつなぎあわせていく。 ポケットは、本体を縫い付けた後、フラップをつけることを理解する。 | 実習への取り組み状況 途中提出作品 |
| 7 | | すそ縫い 仕上げ 着装 期末考査 | <ul style="list-style-type: none"> 両足の股下を縫い合わせてからまた上を縫う方法を理解する。 仕上げアイロンをかけ、着装して互いに評価する。 | 提出作品 期末考査 |
| 9 | 刺し子 | 縫製 図案デザイン | <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的技法である刺し子の由来を理解する。 | 実習への取り組み状況 |
| 10 | | 刺し子を用いた作品の製作 | <ul style="list-style-type: none"> 伝統図案を参考に、作品のデザインを考える。 作品を仕上げ、活用の仕方を考える。 | 提出作品 |
| 11 | 手作りニット 製品を使った 着装の工夫 | 毛糸の性質 棒針編みとかぎ針 編み 編み目記号と編み方の基礎 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な編み方を習得する。 編み目記号をおぼえ、製図を見ながら製作できるようにする。 | 実習への取り組み状況 |
| 12 | | 期末考査 | | 提出作品 期末考査 |

| 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料 |
|---|-------------------|----------------|--|--------------------|
| 1 | 手作りニット製品を使った着装の工夫 | かぎ針編みを用いた作品の製作 | <ul style="list-style-type: none"> 作品（マフラー・帽子 ベスト等）を計画的に製作する。 作品の仕上げを行い、自己評価をする。 | 提出作品 実習への取り組み状況 |

3 評価の観点

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | <p>衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身につけているか。</p> <p>衣服の構成に関する実習や製図の実習などを通じ必要な知識と技能を習得しているか。</p> <p>製作題材を踏まえた技法を用い、計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身につけているか。</p> |
| 思考・判断・表現 | <p>衣服の構成・材料及び製作に関して、自分の嗜好や家族の要求との関連をみつけることができるか。</p> <p>衣服の製作について、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身につけているか。</p> <p>衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができるか。</p> <p>また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫をいかし表現することができるか。</p> |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <p>衣服の構成・材料・製作について関心をもち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、衣服を創造的に製作する態度を身につけているか。</p> |

4 評価の方法

ファッション造形への知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・作品は必ず期日までに提出して下さい。提出が間に合わない場合は、補講を受けてください。
- ・極力欠席をしないように心がけてください。欠席をすると進度が遅れ授業に支障を来たします。
- ・欠席・公欠等で授業を欠いた場合は、補講を受け進度が追いつくようにしましょう。
- ・製作途中の作品を教室や自宅に持ちかえることは控えてください。
- ・忘れ物があると実習できません。忘れ物をなくしましょう。